

地域の子どものために

～帝人労働組合岐阜支部が寄附～

2月8日(木)、帝人労働組合岐阜支部よりあすなるの園への寄附金贈呈式が行われました。

これは、帝人労働組合が所属するU Aゼンセン化学部会が共同で行った募金活動で集めた一部をいただいたものです。

寄贈にあたり、宇津勝利岐阜支部長は「子どもたちのために使ってください。」と、話されました。

いただいた寄附金は感覚運動機能を強化するための教具の購入に使われます。



▲帝人労働組合岐阜支部の皆さん

ハイ！議長！！

～子ども議会～

1月29日(月)、中央公民館で子ども議会が行われ、各小学校の6年生が参加しました。

模擬議会では各学校の代表児童が、問もなく供用開始予定の安八スマートインターチェンジや、町長や議長の仕事について質問をし、それに対して町長と議長が答弁を行いました。

また、児童は、講堂に設けられた投票所で選挙に関する説明を聞いたり、実際に議会が行われる議場や庁舎内の見学をしました。



▲鋭い提案や質問をする児童

哲学についての深～いお話

～東安中学校で夢講話～

2月6日(火)、東安中学校で、卒業生が講師をされる夢講話が行われました。

3回目の開催となる今回は静岡大学の学長を務めている石井潔さんが講演を行いました。

「田舎の少年の夢」という演題のもと、石井さんは、中学生の時に読んだ本がきっかけで哲学に興味を持ったことや、自身が中学生の頃は部活に打ち込んでいたことなどを話されました。



▲自身の中学生時代について話す石井さん

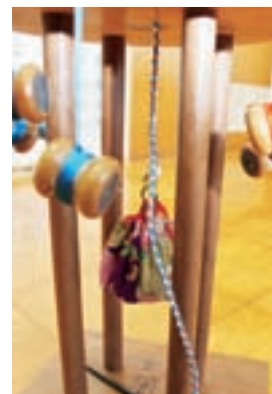
絹糸、色鮮やかに

～名森小児童が組紐体験～

1月25日(木)、名森小学校で組紐体験が行われました。4年生は地域で行われていた養蚕業の勉強をしており、この体験もその一環となります。

染織家の所鳳弘さんを先生に迎え、ススキや藍、マリーゴールドなど、この地方の草木を使って染色した絹糸を、丸台という専用の道具を使って組んでいきました。

今年は、少し難しい組み方に挑戦しましたが、中には60cm以上の長さまで組んだ児童もいました。



▲2人で息を合わせて、テンポよく組んでいきました